令和７年９月１日

３年生保護者の皆様へ

高松市立香南中学校

令和７年度全国学力・学習状況調査の分析結果と対策について（お知らせ）

初秋の候、保護者の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申しあげます。日頃は、本校の教育活動に格別のご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、４月に中学３年生を対象に実施されました全国学力・学習状況調査結果の概要を下記の通りお知らせします。本校では、この結果を参考に２学期からの学校運営や授業改善に努めてまいりますので、今後ともご支援をよろしくお願いします。

記

＜**国語**の調査結果について＞

分類別に見てみると、【知識・技能】については、変換した漢字として適切なものを選択する問題で、正答率が県平均・全国平均を下回っている。また、【思考力・判断力・表現力等】においては、「書くこと」が、県平均・全国平均とほぼ同じだが、「読むこと」で、県平均と全国平均を下回っている。特に「記述式」の問題で、正答率が大きく下回っている。問題別に見てみると、表現の工夫や効果について考える問題や、自分の考えを構築し、そのように考えた理由を述べる問題で正答率が低くなり、無回答率は高くなっている。

対　策

自分の思いや考え、本文中の表現の効果について、根拠を明確にして表現する力を身に付ける必要があると言える。そのため、授業の中で、表現の特徴を分析的に考える授業展開を意図的に組み込んでいきたい。また、課題解決学習の中で、まず根拠を明確にした自分の考えを持ち、グループに伝えていくようなワークシートの工夫も行いたい。語彙力の向上に関しては、文脈に即して漢字を正しく使う力を伸ばすため、百字帳による日々の漢字練習を続けていくとともに、朝読書により、文脈中での漢字や語句の正しい使い方を身に付けさせたい。

＜**数学**の調査結果について＞

【数と式】【図形】【関数】【データの活用】の４領域全てにおいて全国平均を下回る結果となり、数学に関して苦手意識を持っている生徒が多いことが浮き彫りとなった。特に**「データの活用」**においては県平均を 20 ポイント、**「数と式」**においては県平均を 15 ポイント下回っている。設問が長い問題ほど正答率が低く、読み取る力が弱いと考えられる。また、素数の判断ができない生徒の割合も高いなど、数学的な知識の定着にも課題が見られる。観点別に見ると「思考・判断・表現」の分野が、全国平均を大幅に下回っている。記述問題での無解答率が高いことから表現する力や挑戦する意欲も高める必要がある。

対　策

基礎基本の定着が重要であると考えられるため、授業では学び直しを重視し、繰り返し基礎的な問題に取り組む時間を確保する。また、表現する機会を増やすために、ペア活動を中心にグループ全員が発言する場面や、ワークシートやノートの記述を共有する場面を授業に多く取り入れていきたい。

＜理科の調査結果について＞

分類別に見てみると、【知識・技能】については、元素記号を記述する問題で、正答率が県平均・全国平均を下回っており、化学分野の基本的な知識の定着に課題が見られる。また、【思考力・判断力・表現力等】においては、全国平均とほぼ同程度の正答率を示しているものの、「記述式」の問題では全国平均を下回る傾向が見られた。特に、地層や気圧に関する問題では、根拠をもとにした判断や説明が求められる場面で正答率が低く、無回答率も高くなっていることから、苦手意識が高いと考えられる。問題別に見てみると、探究活動の振り返りや、生活に関する身近な事象を題材とした問題では比較的高い正答率を示しており、生徒が自分の経験と結びつけて考える力は育まれていることがうかがえる。一方で、抽象的な概念や理論的な知識を問う問題では、理解が不十分な傾向が見られた。

対　策

自分の考えの根拠を明確にして表現する力を育むために、予想や考察をする際に結果や既存の経験をもとに考察させたり、グループ活動で対話させたりする時間を充実させたい。小テストや授業はじめの前時のふりかえりを丁寧に行うことで、基本的な知識を定着させたい。

～生徒質問紙調査結果について～　（「はい」＋「どちらかといえばはい」と答えた割合　％　）

1　よかった傾向：　全国より５ポイント以上**高い**（ただし、60％未満のものを除く）

（1）先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う
（2）地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う
（3）困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる
（4）将来の夢や目標をもっている
（5）タブレット等で、図や表などを使って情報をまとめることができる

2　全国との比較で気になった傾向：　全国より５ポイント以上**低い**

（1）タブレット等で、発表スライドを作成できる
（2）総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて、情報を集めて整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる
（3）学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている
（4）授業で学んだことを他の学習や生活で生かすことができると思う